

舟方一 ふねかた 詩人。明治四十五年五月二十日東京市京橋區東港町生れ、昭和二十一年八月十七日没（一九二一—五五）。本名足立孝方一。筆名澤貞一郎、船方一、關正勝。水上生活者の家へ生れ、小學校を中途で退く。昭和五年横濱市従業員組合、労働者劇團に参加し、翌年組合機關誌の詩「失業登録の朝」を發表。七年ナルプ（日本プロレタリア作家同盟）神奈川支部機關誌「文學と攻撃隊」を發刊し、「文學新聞」等へ作品發表。また非合法日本共産黨入黨を翌年檢舉入獄。九年詩誌「詩精神」同人、爾後職を轉々としながら詩作。十六年詩誌「浪漫」に加はると、同人等と共に共産主義宣傳の旗を檢舉せられ、服役二年。終戦直前出所し戦後再入黨、労働運動、詩サークル活動に従事してゐたが、交通事故で遭ひ死去。

詩集「わが愛を闘いの中から」（船方一名、昭和二十四年五月一日神奈川・日本民主主義文化連盟神奈川地方協議會、市川書店發賣）、「舟方一詩集」（舟方一詩集刊行委員會編、昭和二十三年一月十五日飯塚書店）。

